

新 市 町

かしま 鹿島町

砂光茫たる鹿島灘、西は風光明媚な北浦にのぞみ、豊沃な水田地帯で中央部は高合をなし地味肥沃な畑地山林であるが、武神武甕槌神を祭る鹿島神宮を中心に観光地としても全国に知られている。大昔この地方は、鹿島神領に属したが、承平年間平国香が常陸大掾に任ぜられてからは、その氏族鹿島氏の支配を受けた。その後天正の末鹿島氏滅び、佐竹氏、里見氏の支配を経て明治維新まで300年徳川氏の旗下に属しており、明治4年7月廃藩置県によって宮城県、明治5年11月新治県、明治8年5月に茨城県と順次編入されたが昭和29年9月15日には旧鹿島町を中心に隣の高松、豊津、豊郷、波野村が合体して、面積50.36平方町、人口16,258人、(男7,832、女8,426)世帯数1,817を有する(昭和32年6月毎月人口調査)新町が再誕生し、県南地方における産業、交通、教育、観光の中心地として大いに発展するものと思われる。

2. 産 業

まず農業面を見ると、農家数1,980戸、農家人口12,689人(男6,100、女6,589)耕地面積1,845町(田993町、畑830町、樹園地22町)山林1,478町を有している。(昭和32年冬期調査)中でもさつまいも597町、大麦305町、小麦338町、たばこ86町、なたね57町の栽培が多く、さつまいもは県内有数の産地として知られ農家収入の大きな財源となっている。次に畜産面を見ると、乳牛15頭、役牛896頭、馬153頭、山羊112頭、豚2,423頭、鶏91頭、にわとり13,052羽、あひる46羽(昭和32年冬期調査)を有しており、くずさつまいもを自給飼料とする養豚は昔から盛んで、町としても本年は種豚50頭を購入して広く貸付を行い、また来年は優良乳牛を50頭移入して酪農経営の奨励を計り、養豚組合の統合強化や搾乳場、迫込舎の建設奨励と相まって、次第に農業の有畜化、多角化を促進する計画の由、ここではすでに新町村建設モデル町村に指定され、新農山漁村振興計画指定町には来年度から指定されることになっており、今後の発展が注目される。次に農機具の普及状況を見ると、電動機114台、石油発動機680台、ガゼントラックター1台、ハンドトラックター1台、動力耕うん機5台、動力脱穀機721台、足踏脱穀機754台、動力糶すり機48台、製粉機95台、精米機443台、精麦機32台、噴霧機5台、人力用噴霧機118台、動力撒粉機11台、製糶機57台、製糶機89台、足踏 1.240台、畜力カルチベーター17台、畜力水田中耕除草機16台、碎土機421台、人力用いも糠飼料機1台、畑用播種機276台、畑用畜力すき337台、田用畜力すき1,049台、家畜用いも磨砕機4台、いも切機24台に達し(昭和32年冬期基本調査)次々に農業の機械化が進んでいる。

4. 財 政

昭和32年度一般会計歳入歳出予算

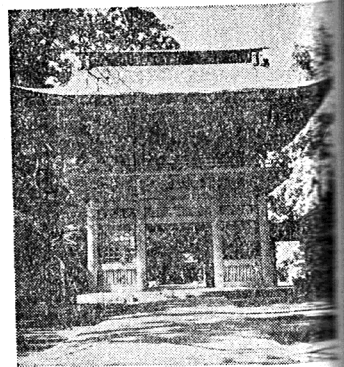
(単位円)

歳 入	町 税	地 方 交 付 税	公 営 企 業 及 財 産 収 入	使 用 料 及 手 数 料	国 庫 支 出 金	県 支 出 金	寄 附 金	繰 入 金	繰 越 金	雑 収 入	合 計				
		17,887,336	15,305,000	8,141	480,190	3,546,002	718,502	300,002	114,258	350,000	510,301	39,219,732			
歳 出	議 会 費	役 場 費	警 防 費	土 木 費	教 育 費	社 会 及 び 労 働 施 設 費	保 健 衛 生 費	産 業 経 済 費	財 産 費	統 計 調 査 費	選 挙 費	公 債 費	諸 支 出 金	予 備 費	合 計
	1,299,000	11,572,503	1,981,740	2,758,100	8,527,742	6,055,520	441,100	3,577,100	76,739	144,040	108,900	900,048	1,427,200	350,000	39,219,732

次に商業面を見ると鹿島地区を中心に昔から発達したが、法人および常用労働者を有する個人商店28、従業者数115名、年間販売額2億1,776万円、常用労働者のいない商店数287、従業者数490名、6月中販売額901万円に達しているが、食料品、雑貨、衣服身廻品などの小売業が大部分を占めているに過ぎない。また工業面も従業者3人以下の工場数42、従業者数108名、年間製造出荷額2,724万円、従業者4人以上の工場数20、従業者数124名年間製造出荷額9,569万円であるが、澱粉製造業の多いことが目立っている。しかし、はまぐりの貝殻を原料とする著石の製造工場があつて、今後の発達が注目されている。

3. 教育文化

ここには高等学校1、中学校4、小学校5(分校1)保育所があつて、高校生徒571名(男421、女150)、中学生徒1,417名(男718、女699)、小学児童2,402名(男1,391、女1,011)(昭和32年学校基本調査)保育所収容児50名を有しているが、県南地方における農業教育の中心地である。学校施設の統合強化計画を進めているが、地方における青少年の体育向上を計るために野球、陸球、バレーなどの総合的な神宮競技場(6,000坪)の建設を企図している。また青年、婦人団体、PTAの活動もめざましいが特に青年団の演劇活動は素晴らしく、全国コンクールに出場して優秀な成績を取った由。また沼尾地区の生活改善運動は他市町村の模範的実績をあげて再三表彰を受けている。ここには鹿島神宮を中心とする名所旧蹟が多く、元和5年に改めて造営された元官幣大社の社殿、神代を偲ぶ老杉、うつ蒼たる輿馬場、国宝で荘厳な奥宮、伝説の多い要石、鹿島政幹の築いた鹿島城、水面延長全国一を誇る神宮橋、聖徳太子の創立されたといわれる根本寺、古戦場、高天の原、足利時代の名剣士塚原ト伝の墓がある。特に鹿島神宮の宝物殿には1,200年頃の作といわれる国宝の御神刀(双渡り8.95尺)をはじめ光仁天皇の御神璽「申田宅印」後一条天皇の中宮藤原成子の奉納した白玉、など数多くの宝物が保管されている。また毎年神宮祭頭祭、神幸祭、12年に一度の御船祭などは、誠に古式豊かな大祭事で近郷近在をはじめ関東近県の参観者で大変にぎわうということである。



(鹿島神宮楼門)

村の横顔

麻生町

1. 沿革

この町は鹿島彦宮鉄道玉造駅からバスで約50分、行方郡の中部に位置し、北は玉造町、北浦村に南は潮来町、玉造町にそれぞれ接し、西は霞ヶ浦、東は北浦にのぞむ水郷ゆきな地方で水郷情緒に溢れている。この町の歴史は古く、孝徳天皇の白雉年間にさかのぼる。中世を通じて、常陸大掾の諸氏の子孫行方宗幹の支配となり、その子小高太郎、島崎次郎、麻生三郎などが割拠して四郷にその威武を振って約400年の門閥を誇つたが天正19年佐竹氏に滅された。その後徳川時代に入り、佐竹氏が移封されてからは水戸藩の所領となり、慶長17年より新庄氏が明治維新まで善政をした。明治4年廃藩置縣の際新治県に属したが、明治8年茨城県に編入されたのである。そして昭和30年3月31日に、旧麻生町を中心とする太田、大和、小高、行方村が合体して、今や面積約60平方キロ、人口21,281人(男10,340、女10,941)を擁する(昭和32年6月毎月人口調査)新しい町として発足したが、行方地方における産業、経済、教育、観光上の中心地の上り、今や全町民の福祉増進と生活向上のために力強い足どりを示している。

2. 産業 まず農業面を見ると、農家数2,680戸、農家人口17,387人(男8,528、女8,859)、耕地面積約1,407町(田1,524、畑1,180、樹園地58町)、山林1,407町、厚野141町を有している。中でもさつまいも446町、大豆20町、小麦451町なたね230町、大豆151町、たばこ122町、らつかせい111町などの栽培が多い。

次に畜産面を見ると、乳牛48頭、役牛1,487頭、馬286頭、めん羊70頭、山羊67頭、豚1,457頭、兎555頭、にわとこ14,341羽、あひる125羽を有している。町としては新農業設計画指定を機会に主穀経営から脱却して養豚組合、養鶏組合、農業協同組合の統合強化の推進と相まって、農産物の奨励、有畜農業への転換を企図している由。

次に農機具の普及状況を見ると、電動機108台、石油発電機1,026台、ガーデントラクター3台、ハンドトラクター2台、動力耕うり機9台、動力脱穀機1,105台、足踏機1,103台、動力穀すり機57台、製粉機49台、精麦機458台、精麦機22台、動力噴霧機3台、人力動力機23台、動力撒粉機11台、製麵機13台、製糰機46台、足踏機2,308台、畜力カルチベーター69台、水田中耕除草機33台、碎土機372台、動力用いも糠飼料機7台、人力機2台、畑用播種機19台、畑用畜力すき591台、田動力すき1,467台、家畜用いも磨砕機3台、いも磨砕機20台を有し、次第に農業の機械化が進んでいる。

またここは霞ヶ浦と北浦を利用する内水面漁業が非常に盛んで、わかさぎ(12万メ)、はぜ(7万メ)、いさざ(10万メ)、こい(5万メ)、うなぎ(5万メ)、えび(4、5万メ)、ふな(3、8万メ)、その他(4万メ)など、年産50万メに近い漁獲高をあげ、半農半漁の兼業農家の大きな

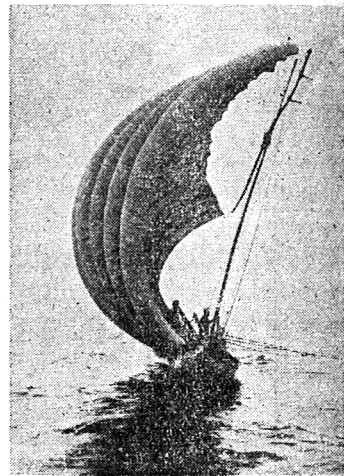
収入源をなしているが、漁具や技術の進歩によつて、乱獲の嫌いも少くない由。特に帆曳船が風速を利用して袋網によるわかさぎ取りは誠に特異な風情である。近く麻生漁港の改修を行い漁船の出入を円滑にして漁獲の増大を期している由。次に商業面を見ると、法人および常用労働者を有する個人商店11、従業者数8,267名、年間販売額1億1,527万円、常用労働者のいない個人商店231、従業者数463名、6月中の販売額2,104万円で、食料品、衣服身廻品小売業が殆どである。(昭和31年商業調査)

次に工業面を見ると、従業者3人以下の工場50、従業者数117名、年間製造出荷額4,147万円、従業者4人以上の工場7、従業者数55名、年間製造出荷額2,338万円であるが、澱粉工場やわかさぎ、しらうおの煮干や佃煮類の加工業者の外は見るべきものはない。(昭和31年工業調査)

3. 教育文化

ここには高校1、中学校5、小学校7、幼稚園1あつて、高校生徒639名(男463、女176)、中学生徒1,417名(男718、女699)、小学児童3,164名(男1,612、女1,552)、園児98名(男39、女59)を有しており(昭和32年学校基本調査)中学校の統合強化をはじめ、施設の整備拡充に努めている。また公民館は本館1、分館4あつて、施設の近代化と優良図書を増加を計つて社会教育の振興を期しており、PTAや青年婦人団体の活動もまた活潑である。婦人会を中心とした蚊、のみ退治の薬剤撒布は相当普及して立派な実績を収めている由。また国民健康保険も昨年6月から全町加入を実現して町からも毎年160万円余を繰出し、直営診療所も一カ所あつて全町民の医療の改善向上を促進している。道路交通関係も観光道路の舗装をはじめ町道の新設改良や砂利敷きなど毎年2~300万円を支出してこれが整備を行っている由。

この地方は古い歴史を持つているので、名所旧蹟も多く、建長3年(705年前)に創立された蓮城院の虚空蔵菩薩、どぶろく祭りで有名な春日神社馬とみこしの押合いで異名のある祇園祭、羽黒城跡、国定公園に近く指定される天王崎などがあるが、湖岸一帯の美しい眺望は観光施設の拡充によつて遠近の観光客を誘うことであらう。



(帆曳船)

4. 財政 昭和32年度一般会計歳入歳出予算 (単位円)

歳入	町税	地方交付税	公営企業及使用料及び財産収入	国庫金	県支出金	寄付金	繰越金	雑収入	町債	合計					
32,646,100	17,945,700	22,700	1,631,000	9,195,000	1,453,000	549,000	1,386,700	3,403,400	16,600,000	84,832,600					
歳出	議会費	役員費	消防費	土木費	教育費	社会及び労働施設費	保健衛生費	産業経済費	財産費	統計調査費	選挙費	公債費	諸支出金	予備費	合計
1,231,600	19,684,000	4,524,000	7,541,900	33,173,200	910,500	1,774,900	5,923,629	297,195	2,979,900	5,467,800	500,000	84,832,600			

毎月勤労統計調査結果速報

(昭和22年4月分)

労働省大官官房労働統計調査部

茨 城 県

— 結 果 の 概 況 —

1. 鉱業は給与改訂で現金給与は増加した

本月の「調査産業総数」の現金給与額は16,365円で3月に比べ161円減少している。この減少は金融保険業の期末手当の支給打切りによるものである。各産業別にこれを見ると筆頭が鉱業で3,659円の増加である。これは業界の好況による給与改訂に伴う差額の追給、次ぎは電気機械器具製造業の1,253円でこれは臨時給与の支給によるものである。減少産業は金融保険業が17,502円と激減した。

2. 労働時間は増加

本月の常用労働者1人平均実労働時間数は産業総数で204.1時間で7.7時間の増加である。所定外労働時間数は21.5時間で0.6時間減少している。しかしながら出勤日

数は24.3日で1日の増加である。

3. 常用労働者は急増

本月末常用労働者総数は75,081人で前年同月に比べると8,543人の増加である。この増加は電気機械器具製造業の好況による7,140人の増加と機械製造業の371人の増加によるものである。一方減少した産業は紡織業で807人、次いで食料品製造業の303人である。

また労働者の移動を先月に比べて見ると増加労働者は5,259人で2,270人の増加、減少労働者は2,011人で結局3,251人の増加となつた。この4月は毎年新規卒業者の就職期であるために労働者の移動が例年活潑に行われるものであるに加えて本年は電気機械器具製造業の好況があつて更に激しさを加えた。

産業別常用労働者1人平均月間現金給与額

産 業 別	現 金 給 与 額	対 前 月 差
総 数	16,365	— 161
D 鉱 業	19,190	+ 3,659
F 製 造 業	14,938	+ 982
20 食 料 品 製 造 業	13,488	+ 315
22 紡 織 業	6,941	+ 185
35 機 械 製 造 業	13,888	+ 733
36 電 気 機 械 器 具 製 造 業	16,211	+ 1,253
G 卸 売 及 び 小 売 業	13,181	— 2,312
H 金 融 及 び 保 険 業	21,963	— 17,502
J 運 輸 通 信 及 び 其 他 の 公 益 事 業	17,936	— 2,134
E 建 設 業	10,580	— 28
K88 医 療 保 健 業	15,109	— 501

第1表 産業、常用労働者の種類及び性別1人平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の1人1日平均現金給与額
(規模30人以上) (単位円)

産業名	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われた給与			臨時及び日雇労働者の1人平均現金給与額
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
全常用労働者										
数	16,365	18,266	8,090	15,185	16,914	7,661	1,180	1,352	429	296
D 鉱業	19,190	20,252	7,782	15,697	16,565	6,369	3,493	3,687	1,413	315
F 製造業	14,938	17,167	7,111	13,950	15,986	6,801	988	1,181	310	284
20 食料品製造業	13,488	16,368	5,969	13,488	16,368	5,969	—	—	—	213
22 紡織業	6,941	15,050	5,944	6,941	15,050	5,944	—	—	—	213
35 機械製造業	13,888	15,372	7,321	13,569	15,008	7,177	319	364	144	333
36 電気機械器具製造業	16,211	17,771	7,903	14,777	16,179	7,312	1,434	1,592	591	335
G 卸売及び小売業	13,181	15,469	6,961	12,661	14,770	6,926	520	699	35	300
H 金融及び保健業	21,963	27,376	11,897	21,823	27,176	11,869	140	200	28	—
J 運輸通信業及びその他の公益事業	17,936	18,794	11,734	17,609	18,550	10,806	327	244	928	295
E 建設業	10,580	11,380	5,698	10,580	11,380	5,968	—	—	—	378
36 医療保健業	15,109	21,491	10,777	14,888	21,183	10,614	221	308	163	130
生産労働者										
D 鉱業	18,954	19,826	6,987	15,577	16,290	5,795	3,377	3,536	1,192	—
F 製造業	12,416	14,238	6,554	11,799	13,490	6,363	617	748	191	—
20 食料品製造業	11,610	14,261	5,437	11,610	14,261	5,437	—	—	—	—
22 紡織業	6,087	11,086	5,829	6,087	11,086	5,829	—	—	—	—
35 機械製造業	12,205	13,288	6,808	12,157	13,240	6,808	48	48	—	—
36 電気機械器具製造業	13,287	14,376	7,251	12,369	13,362	6,865	918	1,014	386	—
E 建設業	8,503	9,203	4,488	8,503	9,203	4,488	—	—	—	—
管理事務及び技術労働者										
D 鉱業	20,667	23,334	9,526	16,445	18,556	7,628	4,222	4,778	1,898	—
F 製造業	21,659	24,691	8,928	19,672	22,397	8,232	1,987	2,294	696	—
20 食料品製造業	18,080	20,983	7,761	18,080	20,983	7,761	—	—	—	—
22 紡織業	13,301	17,648	7,801	13,301	17,648	7,801	—	—	—	—
35 機械製造業	19,621	23,036	8,213	18,360	21,537	8,069	1,261	1,499	144	—
36 電気機械器具製造業	22,846	25,637	9,229	20,242	22,706	8,220	2,604	2,931	1,009	—
E 建設業	14,782	15,668	8,597	14,782	15,668	8,597	—	—	—	—

第2表 産業、常用労働者の種類別及び性別1人平均月間実労働時間数及び出勤日数(規模30人以上)
(単位、時間、日)

産 業 名	総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数			出 勤 日 数		
	総 数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
全 常 用 勞 働 者												
総 数	204.1	205.8	196.9	182.6	181.2	188.7	21.5	24.6	8.2	24.3	24.2	24.9
D 鉱 業	195.6	195.6	184.0	171.9	171.5	176.2	22.7	24.0	7.8	23.5	23.4	24.5
F 製 造 業	212.9	216.4	200.4	185.8	184.1	191.8	27.1	32.3	8.6	24.6	24.5	24.9
20 食 料 品 製 造 業	207.4	212.6	193.7	185.4	185.1	186.2	22.0	27.5	7.5	25.0	25.4	24.1
22 紡 織 業	203.3	208.3	202.1	201.2	194.3	201.5	2.1	14.0	0.6	25.1	24.7	25.2
35 機 械 製 造 業	234.3	236.3	225.7	204.4	201.3	218.3	29.9	35.0	7.4	26.1	25.8	27.4
36 電 気 機 械 器 具 製 造 業	212.6	214.8	200.7	183.2	182.3	187.9	29.4	32.5	12.8	24.4	24.3	25.0
G 卸 売 小 売 業	205.8	201.3	217.9	194.2	188.2	210.4	11.6	13.1	7.5	26.1	25.9	26.5
H 金 融 業	183.7	187.2	177.4	172.7	174.7	169.0	11.0	12.5	8.4	25.2	25.2	25.0
J 運 輸 通 信 及 び そ の 他 の 公 益 事 業	191.7	192.8	182.8	180.5	181.0	176.4	11.2	11.8	6.4	23.6	23.6	24.2
E 建 設 業	191.2	195.5	176.3	179.2	182.4	170.8	12.0	13.1	5.5	23.9	25.3	22.5
K88 医 療 及 保 健 業	204.6	213.0	198.9	184.7	188.1	182.3	19.9	24.9	16.6	24.4	25.0	24.0
生 産 勞 働 者												
D 鉱 業	192.8	193.8	180.1	169.9	169.7	172.8	22.9	24.1	7.3	23.0	22.3	23.4
F 製 造 業	213.5	217.9	199.6	185.4	183.5	191.8	28.1	34.4	7.8	24.5	24.4	24.5
20 食 料 品 製 造 業	208.6	214.9	193.9	183.9	182.4	187.4	24.7	32.5	6.5	25.0	25.4	24.2
22 紡 織 業	202.0	208.7	201.7	200.6	187.4	201.3	1.4	21.3	0.4	25.1	23.1	25.2
35 機 械 製 造 業	233.4	234.6	227.3	202.8	199.5	218.8	30.6	35.1	8.5	26.0	25.7	27.5
36 電 気 機 械 器 具 製 造 業	213.1	215.7	199.2	182.6	181.9	186.6	30.5	33.8	12.6	24.3	24.2	24.5
E 建 設 業	182.0	185.1	164.5	172.0	173.8	161.8	10.0	11.3	2.7	23.1	23.3	21.5
管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者												
D 鉱 業	205.6	208.7	192.6	184.5	184.7	183.7	21.1	24.0	8.9	26.3	26.2	25.5
F 製 造 業	211.0	212.9	203.0	187.0	185.9	191.6	24.0	27.0	11.4	24.9	24.8	25.5
20 食 料 品 製 造 業	204.5	207.4	193.1	189.3	191.1	181.9	15.2	16.3	11.2	24.9	25.2	24.2
22 紡 織 業	212.3	215.5	208.5	205.4	206.3	204.4	6.9	9.2	4.1	25.7	25.8	25.5
35 機 械 製 造 業	237.7	242.6	222.1	210.1	208.0	217.1	27.6	34.6	5.0	26.6	26.4	27.2
36 電 気 機 械 器 具 製 造 業	211.3	212.9	203.6	184.5	183.3	190.3	26.8	29.6	13.3	24.6	24.5	25.2
E 建 設 業	214.7	216.1	204.7	198.6	199.5	192.3	16.1	16.6	12.4	25.5	25.6	25.0

第3表 産業、常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者並びに産業別臨時及び日雇労働者の月間推計延人員（規模30人以上）（単位人）

産 業 名	前月末労働者数			本月中の増加			本月中の減少			本月中労働者数			臨時及び日雇労働者の月間推計延人員
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
全 常用労働者													
数	71,833	58,575	13,258	5,259	3,864	1,395	2,011	1,557	454	75,081	60,882	14,199	47,279
D 鉱 業	11,488	10,525	963	487	439	48	657	625	32	11,318	10,339	979	10,077
F 製 造 業	38,031	29,639	8,392	4,040	2,970	1,070	961	649	312	41,110	31,960	9,150	13,749
20 食料品製造業	2,611	1,897	714	99	42	57	66	36	30	2,644	1,903	741	4,470
22 紡 織 業	2,040	225	1,815	132	11	121	62	7	55	2,110	229	1,881	975
35 機 械 製 造 業	2,273	1,871	402	351	266	85	57	57	—	2,567	2,080	487	18
36 電気機械器具製造業	21,823	18,431	3,392	2,847	2,220	627	466	332	134	24,204	20,319	3,885	236
G 卸売及び小売業	4,452	3,271	1,181	294	149	145	173	93	80	4,573	3,327	1,246	1,034
H 金融及び保険業	2,544	1,652	892	95	62	33	19	8	11	2,620	1,706	914	—
J 運輸通信及びその他の公益事業	15,318	13,488	1,830	343	244	99	201	182	19	15,460	13,550	1,910	22,417
E 建 設 業	6,439	5,508	931	389	344	45	414	318	96	6,414	5,534	880	66,021
K88 医療保険業	2,336	965	1,371	169	19	150	71	20	51	2,434	964	1,470	678
三 産 労働者													
D 鉱 業	9,934	9,264	670	401	383	18	611	587	24	9,724	9,060	664	—
F 製 造 業	27,749	21,285	6,464	3,095	2,343	752	828	577	251	30,016	23,051	6,965	—
20 食料品製造業	1,857	1,304	553	76	35	41	61	34	27	1,872	1,305	567	—
22 紡 織 業	1,798	90	1,708	116	4	112	54	5	49	1,860	89	1,771	—
35 機 械 製 造 業	1,757	1,470	287	281	226	55	57	57	—	1,981	1,639	342	—
36 電気機械器具製造業	15,109	12,815	2,294	2,125	1,724	401	394	286	108	16,840	14,253	2,587	—
E 建 設 業	4,341	3,678	663	313	268	45	393	300	93	4,261	3,646	615	—
管理事務及び技術労働者													
D 鉱 業	1,554	1,261	293	86	56	30	46	38	8	1,594	1,279	315	—
F 製 造 業	10,282	8,354	1,928	945	627	318	133	72	61	11,094	8,909	2,185	—
20 食料品製造業	754	593	161	23	7	16	5	2	3	772	598	174	—
22 紡 織 業	242	135	107	16	7	9	8	2	6	250	140	110	—
35 機 械 製 造 業	516	401	115	70	40	30	—	—	—	586	441	145	—
36 電気機械器具製造業	6,714	5,616	1,098	722	496	226	72	46	26	7,364	1,066	1,298	—
E 建 設 業	2,098	1,830	268	76	76	—	21	18	3	2,153	1,888	265	—

生産動態調査

……織……維……部……門……

(昭和32年6月度分)

(調査企画課商工調査係)

概況

織物

綿織物の生産は前月度より約7%減少した。引渡高も需要衰え約22%の減少となった。

絹織物の生産は秋冬物生産への切替え時期にあるので約3%の減少で、引渡高も約30%減少となった。

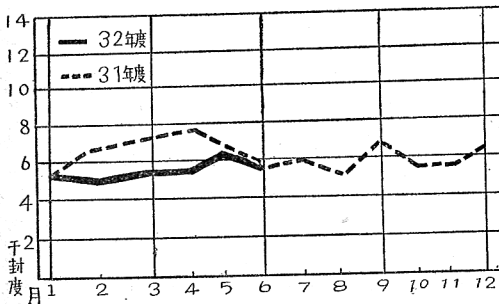
メリヤス製品

メリヤス製品は冬物用外衣、手袋、靴下の生産に入ったので生産高、引渡高共に増加している。

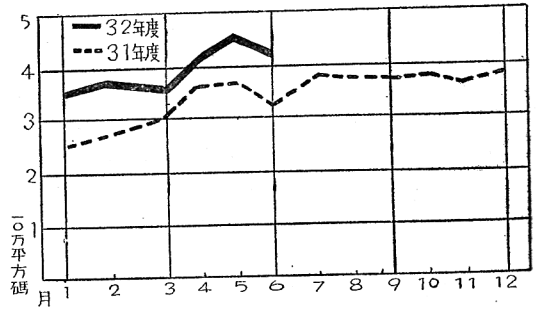
縫製品

制服、子供服の生産高引渡高が増加している。

特紡和紡糸生産推移



織物生産推移



(1) 対象工場数

業種	特紡和紡糸	綿織物	絹織物	メリヤス製品	雑織維製品	縫製品	製
対象	7	19	319	11	3	14	10
操業	7	19	315	11	3	14	10
休止	—	—	4	—	—	—	—

② 生産および出荷状況

品目別	単位	生産高		引渡高		月末在庫高	
		当月度	前月100対比	当月度	前月100対比	当月度	前月100対比
計	封度	57,864	91	37,755	66	51,321	164
落綿糸	〃	44,300	96	25,900	61	44,000	172
特紡糸	〃	5,700	100	5,000	100	1,725	168
和紡糸	〃	7,864	68	6,855	68	5,596	122
織織計	平方碼	411,617	91	351,834	80	217,793	138
絹織物	〃	245,742	93	193,045	78	141,565	159
絹織物	〃	48,951	97	42,181	69	29,821	129
絹紡織物	〃	3,302	89	3,101	83	4,507	105
和紡織物	〃	80,572	82	81,512	90	38,651	98
特紡織物	〃	—	—	—	—	—	—
スフ織物	〃	—	—	—	—	—	—
人絹織物	〃	—	—	—	—	—	—
合成繊維織物	〃	33,050	97	31,995	86	3,249	148
メリヤス生地	封度	2,934	100	4,991	103	1,607	44
製品計	打	13,748	102	18,184	103	13,041	113
肌着	〃	2,435	86	2,398	82	635	106
外衣	〃	103	147	103	147	—	—
手袋	〃	9,110	105	14,353	113	9,617	108
靴下	〃	2,100	103	1,330	72	2,789	138
計	封度	2,431	96	3,433	84	3,527	902
漁網	〃	801	76	1,172	67	824	99
漁具糸	〃	1,630	66	2,261	98	2,703	88
学校服	着	856	71	1,024	97	1,107	87
作業服	〃	91	20	159	30	141	67
制服	〃	5,486	128	5,486	128	—	—
乳児および子供服	〃	2,632	232	2,379	293	2,250	310
既成服	〃	1,752	85	2,672	90	983	79
中衣・肌着	点	44,598	70	52,167	92	36,574	83
綿	封度	87,325	71	96,258	79	56,173	86

本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸、和紡糸以外の紡績工場および抽出調査工場は含まれていない。

.....機.....械.....部.....門.....

(昭和32年6月度分)

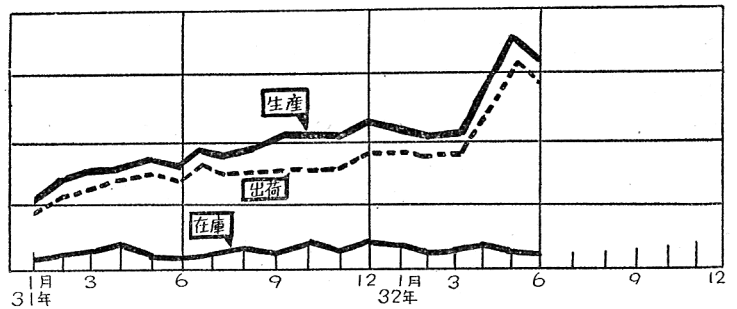
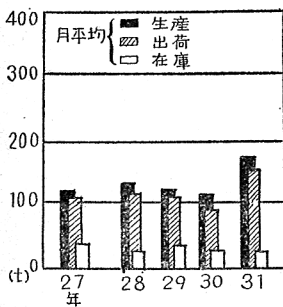
概 況

銑鉄鑄物の生産および出荷は前月より、ともに約10%下廻つたが依然活況である。

銅合金鑄物は前月対比146%と大企業からの発注が活況で5万t台を突破した。

軽合金鑄物は前月より39%下廻つたが、銅合金鑄物に生産が向けられた結果と思われる。

銑鉄鑄物の推移

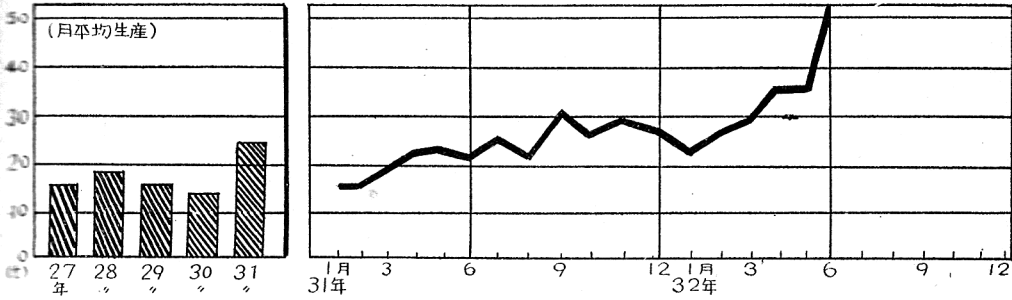


銑 鉄 鑄 物

製 品 名	生 産		出 荷		自己消費 重量 kg	月末在庫 重量 kg	対象工場数 16
	重量 kg	金 額 千円	重量 kg	金 額 千円			
総 数	313,632	36,232	273,533	24,083	37,337	23,885	生産前月対比
産業機械器具用	179,082	14,541	164,072	13,470	14,298	7,955	92
繊維機械器具用	—	—	—	—	—	—	出荷前月対比
鉄道および車輛用	14,856	1,399	14,856	1,399	—	—	91
電気および通信機器用	74,465	7,520	74,345	7,511	—	270	在庫前月対比
農機器および漁具用	2,699	165	2,699	165	120	280	88
港湾および船舶機器用	—	—	—	—	—	—	
その他の機械器具用	27,109	1,626	9,670	922	17,469	190	
日 用 品	3,430	284	1,350	109	—	15,160	
鑄型および鑄型空盤	5,450	190	—	—	5,450	—	
ロ ー ル	—	—	—	—	—	—	
そ の 他	6,541	507	6,541	507	—	30	

(註) 上記銑鉄鑄物は普通鑄鉄鑄物であつて強靱鑄鉄鑄物は当該事業所がない。

銅合金鑄物の推移



銅合金鑄物

軽合金鑄物

製品名	生産		
	重量(kg)	金額(千円)	
総数	54,579	24,665	
産業機械器具用	10,087	3,187	
電気および通信機器用	18,224	9,372	
鉄道および車輛用	1,444	705	
港湾および船舶機器用	2,314	1,294	
その他の機械器具用	701	328	
受メタル	10,335	5,150	
継手	5,755	2,546	
バルブコック	5,575	1,967	
建築用	120	100	
日用品	—	—	
その他	24	16	
対象工場数	10	生産前月対比	146

製品名	生産		
	重量(kg)	金額(千円)	
総数	10,629	5,084	
産業機械器具用	485	268	
鉄道および車輛用	1,008	538	
自動車用	5,780	2,489	
電気および通信機器用	3,302	1,756	
精密機器用	—	—	
港湾および船舶機器用	47	29	
農機具および漁具用	—	—	
その他の機械器具用	1	1	
日用品	—	—	
その他	6	3	
対象工場数	6	生産前月対比	61

※本表は下記の定義にもとずいたものである。

鉄鋳物については在籍従業員10名以上銅合金鑄物および軽合金鑄物については在籍従業員5名以上の工場が調査の対象である。

(昭和32年6月度分)

概 況

• 草 靴

今月の生産数は317足で前月より5%上廻っている。

漆 器

今月の生産数は1,354個で前月より34%の減であるが、前年同月とは同じである。一年を通じて今月の生産は農繁期と夏期の需用減によるため最も低下している。

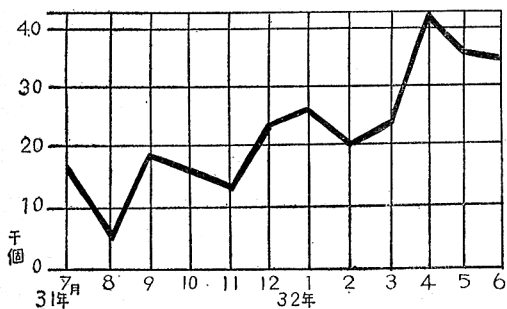
建築用コンクリートブロック

今月の生産は35,816個で前月より6%の減である。

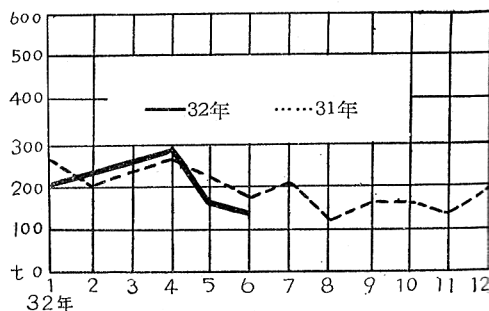
陶 磁 器

今月の生産は136,899疋で前月より24%の減で、これもやはり農繁期のためである。

建築用コンクリートブロック製品の推移



陶磁器製品の推移



業種	製品名	区分	単位	生産数量			出荷数量					月末在庫数量	事業所数 (操業)
				数量	前月 対比 (%)	金額 (千円)	国内向			輸出向			
							数量	前月 対比 (%)	金額 (千円)	数量	前月 対比 (%)		
靴	総数	足	317	105	754	266	89	706	—	—	—	459	5(5)
	男子総革靴	〃	200	113	494	170	97	484	—	—	—	205	
	婦人〃	〃	102	82	233	81	65	184	—	—	—	252	
	その他靴	〃	15	—	27	15	—	38	—	—	—	2	
食器類	総数	個	1,354	66	625	1,354	66	625	—	—	—	64	12(4)
	食器類	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	食卓子、膳盆類	〃	500	49	55	500	49	55	—	—	—	—	
	その他	〃	804	79	558	804	79	558	—	—	—	62	
磁器類	総数	個	35,816	94	1,433	30,020	79	1,288	—	—	—	73,008	5(5)
	A種	基本	1,315	60	44	2,645	73	100	—	—	—	4,323	
		異型	300	94	10	392	50	9	—	—	—	2,643	
	B種	基本	1,500	—	45	1,600	91	80	—	—	—	1,950	
		異型	1,800	—	54	600	0	30	—	—	—	1,830	
	C種	基本	22,315	108	929	13,693	75	672	—	—	—	36,816	
		異型	2,964	74	194	3,482	119	148	—	—	—	10,254	
	帳壁用ブロック	〃	5,622	51	157	7,608	76	249	—	—	—	15,192	
電気用品	総数	珎	136,899	76	25,745	131,729	80	25,695	—	—	—	87,519	12(12)
	特別高圧用碍子	〃	45,938	148	17,125	45,938	148	17,125	—	—	—	—	
	高圧用碍子	〃	2,569	114	2,614	2,569	113	3,614	—	—	—	—	
	低圧用碍子	〃	4,292	126	4,349	4,292	126	4,349	—	—	—	—	
	その他	〃	430	122	695	430	11	695	—	—	—	—	
	家庭用品	〃	62,850	57	728	57,280	60	674	—	—	—	86,919	
	衛生用品	〃	19,300	60	215	19,700	62	219	—	—	—	400	
その他	〃	1,520	—	19	1,520	—	19	—	—	—	200		

※対象工場数、生産数量及び出荷数量において以下の事業部については公表を禁じられているので、金属洋食器、赤れんが、がん具、がらす製品は除外した。

革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、コンクリートブロック、全事業所である。

昭和31年工業統計調査結果の概要 (その1)

工業調査係

項目別 市郡別	事業所数			従業者数			製造品出荷額 (千円)		
	従業者 3人以下	"/ 4人以上	計	従業者 3人以下	"/ 4人以上	計	従業者 3人以下	従業者 4人以上	計
水戸市	204	227	431	459	4,033	4,492	174,652	5,190,510	5,365,162
日立市	120	281	401	287	24,325	24,612	118,089	38,671,115	38,789,204
土浦市	192	108	300	458	1,692	2,150	188,528	1,368,591	1,557,119
古河市	165	140	305	365	3,673	4,038	129,174	2,637,238	2,766,412
石岡市	100	107	207	234	1,748	1,982	80,953	1,567,955	1,648,908
下館市	157	107	264	327	2,586	2,913	107,177	3,072,854	3,180,031
結城市	265	72	337	555	1,244	1,799	99,899	1,258,367	1,358,266
竜ヶ崎市	68	36	104	157	750	907	53,767	1,187,522	1,241,289
那珂湊市	102	48	150	275	971	1,246	285,663	767,696	1,053,359
下妻市	60	28	88	140	400	540	64,977	455,841	520,818
水海道市	62	38	100	141	524	665	28,930	483,517	512,447
常陸太田市	72	75	147	172	909	1,081	52,163	599,383	651,546
勝田市	28	38	66	69	3,145	3,214	29,932	4,603,425	4,633,357
高萩市	29	46	75	74	956	1,030	25,163	968,706	993,869
北茨城市	38	73	111	94	931	1,025	28,555	860,366	888,921
市計	1,662	1,424	3,086	3,807	47,887	51,694	1,467,622	63,693,086	65,160,708
常澄村	18	2	20	36	x	36	7,979	x	7,979
石崎村	1	1	2	x	x	x	x	x	x
赤塚村	11	7	18	22	273	295	7,455	1,426,952	1,434,407
茨城町	16	8	24	28	82	110	8,134	64,734	72,868
小川町	18	17	35	45	211	256	16,291	148,223	164,514
美野里村	15	8	23	28	54	82	11,652	25,266	36,918
内原村	14	1	15	31	x	31	13,361	x	13,361
飯富村	4	—	4	11	—	11	4,949	—	4,949
常北町	10	7	17	23	65	88	6,941	51,675	58,616
桂村	7	2	9	15	x	15	5,460	x	5,460
御前山村	13	12	25	24	110	134	2,216	70,036	72,252
大洗町	106	70	176	266	614	880	71,769	384,543	456,312
東茨城郡計	233	135	368	529	1,409	1,938	156,207	2,171,429	2,327,636
笠間町	43	32	75	108	369	477	24,774	200,165	224,939
友部町	17	19	36	39	324	363	15,781	202,567	218,348
岩間町	38	8	46	89	103	192	26,918	44,179	71,097
七会村	—	2	2	—	x	x	—	x	x
稲田村	1	14	15	x	855	855	x	279,291	279,291
岩瀬町	13	27	40	36	409	445	6,672	138,113	144,785
西茨城郡計	112	102	214	272	2,060	2,332	74,145	864,315	938,460
東海村	4	3	7	10	75	85	2,600	60,418	63,018
那珂町	28	14	42	68	210	278	28,121	257,482	285,603
国田村	5	—	5	9	—	9	1,462	—	1,462
瓜連町	6	8	14	15	89	104	2,903	54,550	57,453

區別	事業所数			従業者数			製造品出荷額 (千円)		
	従業者 3人以下	4人以上	計	従業者 3人以下	4人以上	計	従業者 3人以下	4人以上	計
大宮町	18	17	35	43	191	234	12,775	123,929	136,704
山方町	11	11	22	24	107	131	2,804	118,623	121,427
美和村	6	8	14	18	92	110	18,667	97,561	116,228
龍川村	8	6	14	20	27	47	2,177	19,304	21,481
龍河郡計	86	67	153	207	791	998	71,509	731,867	803,376
金砂郷村	5	15	20	13	114	127	2,853	94,999	97,852
水府村	2	18	20	X	139	139	x	110,323	110,323
里美村	8	16	24	18	139	157	14,265	116,627	130,892
大子町	20	42	62	52	520	572	28,016	509,796	537,812
久慈郡計	35	91	126	83	912	995	45,134	831,745	876,879
十王町	6	7	13	14	66	80	5,072	56,719	61,791
多賀郡計	6	7	13	14	66	80	5,072	56,719	61,791
旭村	35	3	38	84	37	121	39,454	23,336	62,790
鎌田町	16	17	33	45	232	277	12,029	165,860	177,889
大野村	11	15	26	26	127	153	2,739	71,279	74,018
大野村	12	30	42	34	285	319	10,526	145,584	156,110
鹿島村	42	20	62	108	124	232	27,236	95,692	122,928
神栖村	40	6	46	113	58	171	41,065	72,001	113,066
波崎町	100	91	191	285	727	1,012	130,605	379,456	510,061
鹿島郡計	256	182	438	695	1,590	2,285	263,654	953,208	1,216,862
麻生町	50	7	57	117	55	172	41,465	23,380	64,845
牛堀町	12	6	18	27	44	71	7,244	14,351	21,595
黒来町	46	13	59	97	140	237	38,067	129,821	167,888
北浦村	20	9	29	43	50	93	7,826	21,511	29,337
玉造町	29	5	34	75	52	127	28,448	41,714	70,162
行方郡計	157	40	197	359	341	700	123,050	230,777	353,827
江戸崎町	15	5	20	34	68	102	3,385	63,140	66,525
美浦村	17	—	17	42	—	42	15,495	—	15,495
阿見町	8	13	21	21	509	530	4,864	1,853,626	1,858,490
盛崎村	3	—	3	9	—	9	1,298	—	1,298
牛久町	14	9	23	41	202	243	11,821	126,752	138,573
新利根町	7	3	10	16	27	43	4,791	36,835	41,626
大須賀村	1	1	2	x	x	x	x	x	x
長川村	16	1	17	33	x	33	6,870	x	6,870
河内村	5	—	5	10	—	10	2,530	—	2,530
金江津村	7	1	8	18	x	18	9,480	x	9,480
東村	10	1	11	13	x	13	3,574	x	3,574
福敷郡計	103	34	137	237	806	1,043	64,108	2,080,353	2,144,461
出島村	42	5	47	100	32	132	29,725	18,640	48,365
玉里村	6	1	7	16	x	16	5,298	x	5,298
八郷町	39	17	56	96	125	221	37,646	74,636	112,282
千代田村	4	5	9	10	52	62	2,500	36,517	39,017
新治村	18	8	26	48	64	112	13,149	39,760	52,909
長村	14	4	18	30	28	58	10,302	18,608	28,911
新治郡計	123	40	163	300	329	629	98,620	208,181	306,801

町村別	事業所数			従業者数			製造品出荷額 (千円)		
	従業者 3人以下	〃 4人以上	計	従業者 3人以下	〃 4人以上	計	従業者 3人以下	〃 4人以上	計
谷田部町	21	5	26	44	39	83	23,768	34,584	58,352
伊奈村	7	5	12	17	22	39	3,045	5,864	8,909
谷和原村	13	2	15	26	x	26	4,070	x	4,070
豊里町	14	2	16	33	x	33	4,145	x	4,145
菅間村	6	1	7	14	x	14	2,606	x	2,606
筑波町	35	19	54	76	180	256	18,770	106,146	124,916
大穂町	27	10	37	60	91	151	11,475	67,608	79,083
筑波郡計	123	44	167	270	332	602	67,879	214,202	282,081
守谷町	27	2	29	54	x	54	20,827	x	20,827
取手町	38	29	67	82	608	690	25,186	455,980	481,166
藤代町	9	8	17	24	98	122	7,912	47,164	55,076
利根村	14	1	15	30	x	30	5,782	x	5,782
北相馬郡計	88	40	128	190	706	896	59,707	503,144	562,851
関城町	23	7	30	61	57	118	22,008	46,521	68,529
明野町	11	6	17	24	117	141	2,223	138,447	140,670
真壁町	76	49	125	186	631	817	86,062	439,546	475,608
大和村	2	7	9	x	76	76	x	23,055	23,055
協和村	12	3	15	33	18	51	7,526	3,852	11,378
真壁郡計	124	72	196	304	899	1,203	67,819	651,421	719,240
八千代村	49	1	50	103	x	103	12,028	x	12,028
千代川村	17	7	24	47	72	119	9,546	21,492	31,038
石下町	53	58	111	142	663	805	49,313	316,147	365,460
結城郡計	119	66	185	292	735	1,027	70,887	337,639	408,526
総和村	20	1	21	46	x	46	17,198	x	17,198
五霞村	10	—	10	19	—	19	2,207	—	2,207
三和村	22	6	28	49	98	147	7,675	90,840	98,515
猿島町	30	6	36	74	42	116	18,736	32,611	51,347
岩井町	68	6	74	146	76	222	31,044	63,032	94,076
境町	52	11	63	119	163	282	42,341	114,824	157,165
猿島郡計	202	30	232	453	379	832	119,201	301,307	420,508
総計	3,429	2,374	5,803	8,012 (8,030)	59,242 (59,511)	67,254 (67,541)	2,754,614 (2,757,332)	73,829,393 (74,071,811)	76,564,007 (76,829,145)

- (註) 1, 各市町村内における事業所数が1または2の場合、従業者数及び製造品出荷額をxで現した。
2, 総計のカッコ内数字はxで現した数を含めた場合である。



(統) (計) (用) (語) (の) (解) (説)

【需要】 物価の急騰と品不足を見越した買溜めに
て需要が急増すると物価は当然上昇することにな
る。しかしこの仮装需要の原因は心理的作用によるこ
とが多いが、預金の引出しを誘発して通貨膨脹を招く
インフレーションを促進する。

【マーチャンダイジング】 Merchandisingとはよく市
場を調査して、その地方やその国の習慣、好みや購買
力に適合した商品を提供して合理的な宣伝をすること
である。戦後わが国のカメラやミシンはこの努力によ
つて外国への進出に大きな成果をあげているわけであ
る。

編 集 室

梅雨明けは例年になくおそい。20日過ぎてもま
つとしい雨に閉ざされ、私たちの気分も何となく
なつてしまふ。しかしカラリと晴れ上つて見ると
暑さはきびしく、清涼味を求める人たちは、海へ、
へと一度に押寄せ、戦後最高の人出といわれる。
神武景気の影響か、それとも余りにも長かつた
時に対する反動かも知れない。その驚異的人出の
か月光族の横行は例年になく非常に多かつたそう
だ。これは原子力時代へと文明が進歩し、このセチ辛
いの中に「人間の常識」は次第に健全性が失われて
行くためではなからうか。私たちは、道徳や時代に対
する反抗とか、反動という宣伝の言葉にのせられて一
瞥覚と英雄感を覚え、正しい人間の理性を失うこと
が多くない。常に正しい健全常識を持つて、多く宣
言流行にまどわされず正しい自分の道を歩きたいも
である。

◎事業所調査もようやく実査を終り、8月には夏期農業
本調査が行われるが、酷暑の時節を控え市町村関係者
各位の御労苦は想像以上であろう。統計事業の重要性
は日増しに倍加されているが、ややもすると一般の認
識と関心は薄くなつていように思われる。私たちの
P. R活動が足りないためもあるが、統計関係の予
算額が年を追つて余りにも少くなつたことが最大原因
である。常に統計は「縁の下の力持」といわれながら
も、なかなか「陽の当る場所」にならないのである。
地味な統計数字を取扱つている統計事業こそ十分な人
員と予算を準備されなければ、立派な成果を収めるこ
とは期待できない。新市町村建設計画も、新農山漁村
建設計画も、その基礎資料はすべて統計関係者の手によ
つて作られていることを考えれば、統計関係者が常
に誠意と責任を持つて積極的に仕事に従事できるよう
にしてあげなければならない。

◎表紙は盛夏に寄せて清涼感溢れる筑波郡谷和原村の福
岡堰である。

◎近刊お知らせ!!

『福祉茨城のすがた』

県勢10カ年の歩みが一目でわかる

企画課では、昨秋から県庁各課および関係官公
社団体などの協力を得て戦後10年間における県勢
と県民生活の推移を明かにして一般県民の認識を
深めるとともに各種行政施策の資料に供するため『福祉
のすがた』を編集していたがこのほど印刷製本の運
びなつた。統計協会でもその充実した内容と貴重な資

料を広く一般県民をはじめ、学校、会社、官公庁におい
て十分利用していただくために実費一部800円で増刷す
ることになつた。各市町村には県から一部贈呈すること
になつているが、予算の関係でその他には配付できない
ので特に各学校の社会科用としておすすめします。

内 容 (B5判 230頁 アート
3色刷 美麗装本)

1. 政治、2. 行政、3. 財政、4. 土地気象、5. 人口、6. 産業
7. 経済、8. 金融、9. 家計賃金、10. 運輸通信、11. 新聞、
ラジオ、12. 電気、13. 社会福祉、14. 労働保険、15. 土木
建築、16. 消防、17. 総合開発、18. 保険衛生、19. 消費生
活、20. 教育、21. 警察、22. 司法。